

管理技術の確立につながることを確信するものである。

引用文献

Cody, W.J. and V. Wagner 1981. The biology of Canadian weeds 49. *Equisetum arvense* L.. Can.J.Plant Sci. 21, 615-623.
 Duckett, J.G. 1979. An experimental study of the reproductive biology and hybridization in the European and North American species of *Equisetum*. Bot.L.Soc. 79, 205-229.
 Hauke, R.L. 1966. A systematic study of *Equisetum arvense*. NovaHedwigia 13, 81-109.
 笠原安夫 1951. 本邦雑草の種類及地理的分布の研究 第3報 畑地雑草の地理的分布

と発生度. 農学研究 39, 91-106.
 中谷敬子・藤井義晴 1996. 組織培養系におけるスギナの塊茎形成. 雑草研究 41(別), 248-249.
 中谷敬子・藤井義晴 1997. 組織培養系におけるスギナの器官形成に及ぼす植物ホルモンの影響. 雑草研究 42(別), 232-233.
 中谷敬子・藤井義晴 2007. 水田畦畔の植生群落構造に及ぼす刈り取り処理の影響. 雑草研究 52(別), 180-181.
 Nakatani K. and Y. Fujii 2008. Tissue culture system for in vitro tuber formation in *Equisetum arvense*. Weed Biology and management 8(3), 219-223.
 中谷敬子・藤井義晴 2008. 数種在来多年生雑草の器官形成に及ぼす遮光と刈り取りの影響. 雑草研究 53(1), 8-14.
 Nakatani K. and Y. Fujii 2013. Influence of the nitrogen form on in vitro

organogenesis in *Equisetum arvense*. Weed Biology and Management 13(4), 151-155.
 中谷敬子・野口勝可 1994. 組織培養系におけるスギナの根茎肥大-根茎と塊茎の内部形態およびABAの肥大促進効果-. 雑草研究 39(別), 76-77.
 中谷敬子・野口勝可 1996. スギナの地下部繁殖器官の形成および死滅に及ぼす各種環境条件の影響. 雑草研究 41, 170-176.
 中谷敬子ら 1996a. スギナの乾物生産特性および地下部繁殖器官の温度反応性. 雑草研究 41, 177-183.
 中谷敬子ら 1996b. スギナ胞子の発芽および前葉体の形成条件. 雑草研究 41, 184-188.

統計データから

平成 28 年産米の 1 等米比率は 83.3% (速報値)

平成 28 年産米の農産物検査結果（平成 29 年 2 月 28 日現在）によると、水稲うるち米の 1 等比率（%）は 83.6 と、同時期の 24 年産 78.3, 25 年産 79.0, 26 年産 81.3, 27 年産 82.5 とここ 5 年間で最高である。最終値は 29 年 10 月 31 日に確定されるが、2 月 28 日現在の水稲うるち玄米の検査数量 4,450.8 千トンは、27 年の最終値の 91.4% に相当する。農政局別の 1 等米比率は、東北 93.7, 関東 91.7, 北海道 89.8, 北陸 86.7, 近畿 71.0, 東海 63.4, 中国四国 62.9, 沖縄 52.6, 九州 40.6 である。また、飼料用もみの検査数量は、68.0 千トン、飼料用玄米は 406.3 千トンである。

この検査結果から、水稲うるち（産地品種銘柄数 266）、もち（同 71, 検査数量 235.1 千トン）、醸造用玄米（同 107, 102.8 千トン）の各銘柄別の検査数量のランキングを表に示した。(K.O)

表 水稲の銘柄別玄米検査数量（平成 29 年 2 月 28 日現在）ランキング

順位	うるち玄米	検査数量 ¹⁾	産地 ¹⁾	順位	もち玄米	検査数量 ¹⁾	産地 ¹⁾
1	コシヒカリ	1,506,617	新潟 (43)	1	ヒメノモチ	35,200	千葉 (13)
2	ひとめぼれ	445,877	宮城 (34)	2	ヒヨクモチ	38,367	佐賀 (7)
3	あきたこまち	402,950	秋田 (31)	3	こがねもち	18,981	新潟 (8)
4	ななつぼし	213,717	北海道	4	風の子もち	18,616	北海道
5	ヒノヒカリ	193,521	熊本 (27)	5	わたぼうし	17,658	新潟
6	はえぬき	171,051	山形 (8)	6	はくちょうもち	13,179	北海道
7	まっしぐら	129,605	青森	7	たつこもち	13,131	秋田 (2)
8	ゆめぴりか	99,157	北海道	8	きぬのはだ	10,028	秋田
9	こしいぶき	96,466	新潟	9	きたゆきもち	9,435	北海道
10	つや姫	65,062	山形 (6)	10	みやこがねもち	8,044	宮城
11	キヌヒカリ	57,938	滋賀 (27)				
12	あさひの夢	56,982	栃木 (9)				
13	きらら397	50,137	北海道				
14	つがるロマン	48,054	青森				
15	きぬむすめ	41,977	島根 (11)				
16	めんこいな	38,496	秋田				
17	夢つくし	36,327	福岡				
18	ふさこがね	35,015	千葉				
19	ハナエチゼン	33,720	福井 (8)				
20	あいちのかおり	30,472	愛知 (2)				

順位	醸造用玄米	検査数量 ¹⁾	産地 ¹⁾
1	山田錦	37,012	兵庫 (34)
2	五百万石	24,474	福井 (22)
3	美山錦	7,510	秋田 (8)
4	秋田酒こまち	2,672	秋田
5	雉町	2,480	岡山 (7)

注 1) : リーディング産地 (該当道府県の総数)